2026 年 10 月 7 日
株式会社小西屋

報道関係各位

AI 活用で現場 DX を内製 株式会社小西屋が 10 本以上の社内アプリを開発

外注に頼らず自社でアプリを作り、職方とともに使う取り組み

宇都宮市の内装仕上げ工事会社、株式会社小西屋(代表取締役 秋山大介)が、生成 AI を活用して業務アプリを自社で開発し、10 本以上(準備中のものを含む)を順次運用しています。専門のエンジニアではない社員が、実質 1 か月分ほどの開発作業で作り上げ、基盤となる部分は約 2 週間で構築しました。役員・社員 7 名と協力会社の職人を合わせた約 10 名が、日々の現場で使っています。地域の中小企業が、外注に頼らずに現場のデジタル化を進めた事例です。

背景

内装仕上げ工事は、現場ごとに職方が入れ替わり、出面(作業員の配置・出勤の記録)、安全管理、書類のやり取りが煩雑になりやすい仕事です。人手不足が続くなか、熱中症対策やアルコールチェックなど、現場の安全と法令対応への要請も高まっています。同社は以前から現場の実情に合うシステムを探していましたが、見つからずに困っていました。そんな中、取引先の建設会社から、現場にて手渡しで行われていたカード制度をスマホアプリにできないかと相談を受けたのがきっかけで社内での開発が始まりました。AI を使って試作してみると実現できることが分かり、日頃から感じていた現場の困りごとにも広げて、自社用の開発を始めました。

取り組みの内容

スマートフォンから使えるアプリで、次の業務を支えています。

- 出面の記録と、作業員の配置管理
- 健康チェック(熱中症予防)やアルコールチェックなど、安全・健康の管理
- 職方さんの入場前チェックと、各種書類の提出
- 現場調査の報告、原価の比較、施工要領書の管理

すべてのアプリは共通の入り口から開くことができ、「準備段階」「現場中」「現場後」という業務の流れに沿って、使うアプリと順番を案内します。個人情報を扱う画面には、担当者だけが入れる本人確認の仕組みを順次導入しています。

今後

現在は、社内で感謝を伝え合う仕組みや、IT 機器の管理、従業員情報の一元化なども取り組み中です。現場での使い勝手を見ながら、引き続き拡充していきます。

会社概要

会社名：　株式会社小西屋
所在地：　栃木県宇都宮市下平出町 522
代表者：　代表取締役 秋山大介
事業内容：　内装仕上げ工事

本件に関するお問い合わせ

株式会社小西屋 担当 秋山大介
電話 028-660-8588 / メール press@k-konishiya.co.jp

画面イメージ



業務アプリの入り口(アプリ一覧)。業務の流れに沿って、使うアプリと順番を番号で案内します。



健康チェック(熱中症予防)の入力画面(スマートフォン)。画面の氏名はテスト用です。